



「外為短期投資家動向調査」結果

<第84回調査>

2016年05月30日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施しておりましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2016年05月17日(火)13:00~2016年05月24日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は896件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

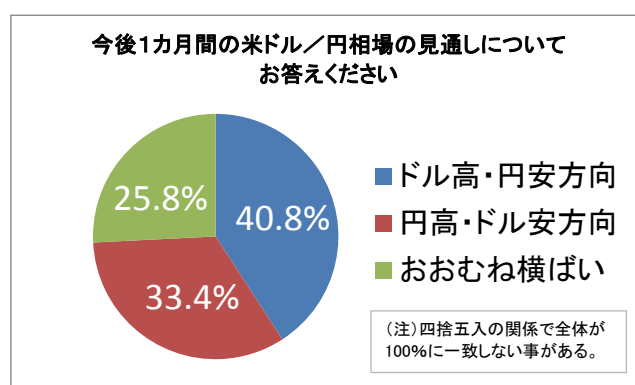
Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第84回調査結果略報：米ドル/円は5カ月ぶりの強気見通しに】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

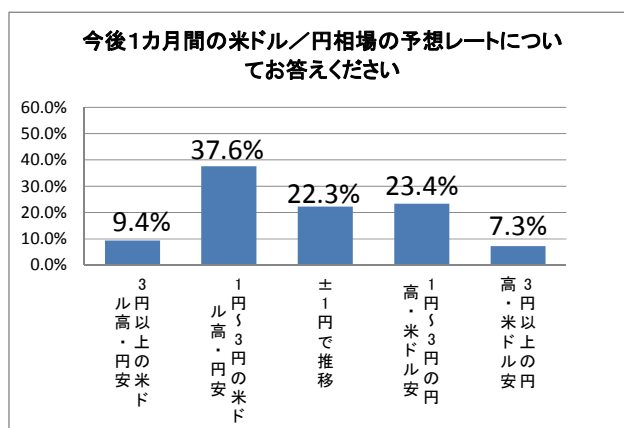
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が40.8%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は33.4%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は+7.4%ポイントとなった。予想DIは2015年12月以来のプラスとなり、5カ月ぶりに米ドル強気・円弱気の見通しが優勢となった。なお、「円高・ドル安方向」とした割合は前月の50.2%から大幅に減少している。調査期間中の米ドル/円相場は一時110.50円台まで上昇するなど、5月3日に付けた約1年半ぶりの安値105.549円からの反発局面にあった。また、米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録の公表を受けて米国の6月利上げ観測がにわかに高まった時期と重なる。こうした動きがFX投資家の強気転換に繋がったと考えられる。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が37.6%と最も多く、「1円～3円の円高・米ドル安」が23.4%、「±1円で推移」が22.3%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は9.4%、「3円以上の円高・米ドル安」は最も少ない7.3%であった。ヒストグラムの形状が先月とは逆の米ドル高・円安方向に傾いた点は問1の結果と整合的と言える。ただ、「3円以上の米ドル高・円安」とした割合は前回から2.5%低下している。「1円～3円の米ドル高・円安」が10%ポイント近く増加したのとは対照的であり、興味深い結果と言えるだろう。FX投資家の米ドル強気見通しは、決して磐石なものではないのかもしれない。



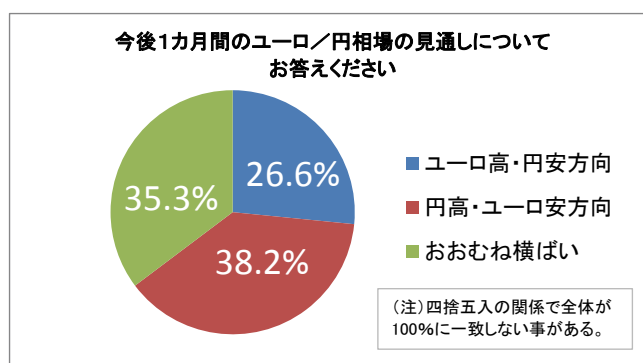
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問3: 今後1か月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が26.6%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が38.2%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼11.6%ポイントとなり、前回調査(▼19.7%ポイント)からマイナス幅がやや縮小したものの、9か月連続のユーロ弱気見通しとなった。調査期間中のユーロ/円は、小幅な値動きながらも122円台に弱含むなど上値が重く推移した。ユーロに特段の売り材料があった訳ではなく、ドル高によってユーロ/ドルが下落した影響と見られる。そうした中、「円高・ユーロ安」予想が前回の43.9%から減少しており、予想DIのマイナス幅縮小に繋がった。

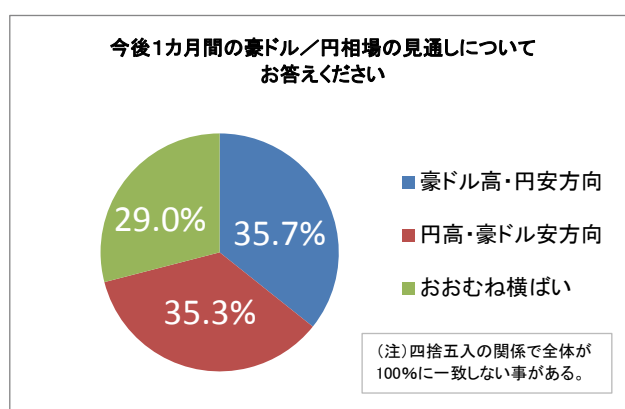
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1か月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1か月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が35.7%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は35.3%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は+0.4%ポイントとなり、前回(▼1.5%ポイント)と同様にFX投資家の見通しがほぼ中立である事が示された。調査期間中の豪ドル/円相場は80円台で頭を押さえられると再び78円台に差し込むなど値動きは小幅ながらも弱含む展開であった。こちらも豪ドル/米ドル相場下落の影響された面が大きい。ドルが主役の相場展開の中ではクロス円の値動きは限定されやすいため、FX投資家の見通しにも強弱感が表れにくいという事だろう。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

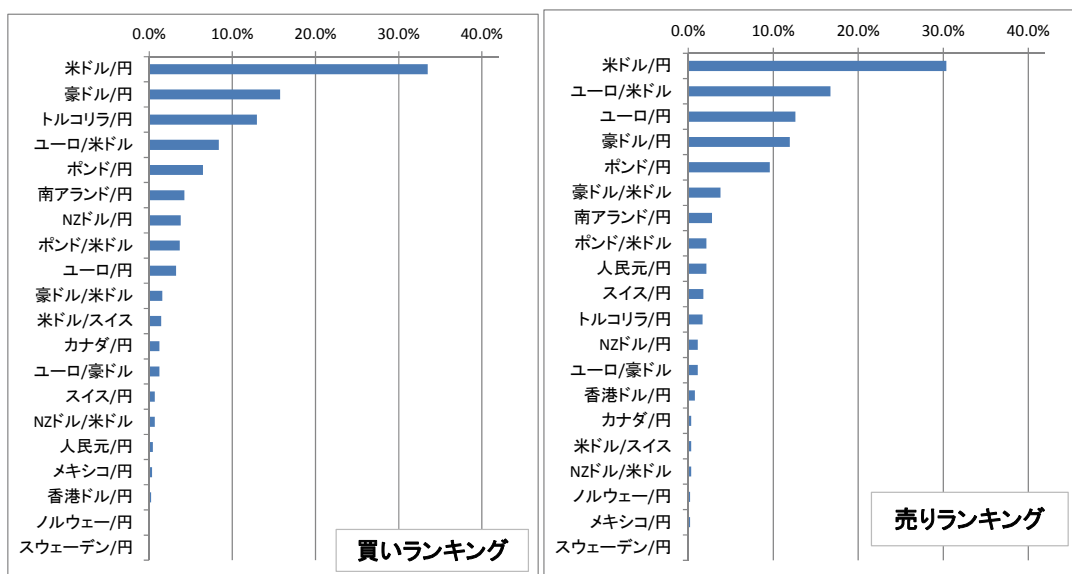


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が33.5%の回答割合を集めて連続第1位の記録を44カ月に伸ばした。以下、2位豪ドル/円(15.7%)、3位トルコリラ/円(12.9%)、4位ユーロ/ドル(8.4%)、5位ポンド/円(6.5%)と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位米ドル/円(30.4%)、2位ユーロ/ドル(16.7%)、3位ユーロ/円(12.6%)、4位豪ドル/円(11.9%)、5位ポンド/円(9.6%)となった。米ドル/円は6カ月続けて「買い」と「売り」の両方で1位を維持しており、FX投資家の関心が集中するとともに思惑が交錯しやすくなっているようだ。今回は、市場のテーマとして米国の利上げが再び話題に上ってきた事さらにそうした動きが強まっているものと考えられる。また、ポンド/円が「買い」ランキングで圏外から5位に浮上した一方、「売り」ランキングでは3位から5位に後退したのが印象的だ。1カ月前と比べ、Brexit(英国のEU離脱)懸念が薄れているという事だろう。

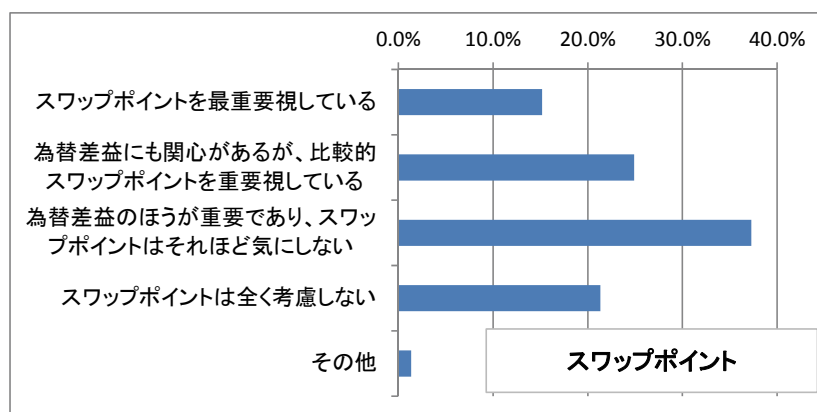


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:スワップポイントがFX投資の判断に与える影響について、次のうちあてはまるのは？(ひとつだけ)

今回の特別質問項目として、「スワップポイントがFX投資の判断に与える影響について、次のうちあてはまるのは？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「為替差益のほうが重要であり、スワップポイントはそれほど気にしない」が37.3%と最も多く、次いで「為替差益にも関心があるが、比較的スワップポイントを重要視している(24.9%)」、さらに「スワップポイントは全く考慮しない(21.3%)」、「スワップポイントを最重要視している(15.2%)」と続いた。なお、その理由について自由記述形式で尋ねたところ、スワップポイント重視派の回答には「高金利通貨に長期で投資するため」という内容が多く、スワップポイント軽視派からは「値動きの良い通貨で短期の取引をするため」との回答が目立った。スワップポイントに対するFX投資家の見方は、その投資スタイルに大きく左右される事が改めてわかった。また、この質問は約2年前の第62回調査(2014年7月)でも行ったが、回答割合に大幅な変化は見られなかった。ただ、「スワップポイントを最重要視している」とした割合がやや上昇(当時の割合は11.3%)した点に関心を引く。今年1月に、日銀が(超過準備預金の一部に)マイナス金利を導入した事で、一部のFX投資家の間で利回り追求の動きが強まりつつあると見るのは深読みが過ぎるだろうか。

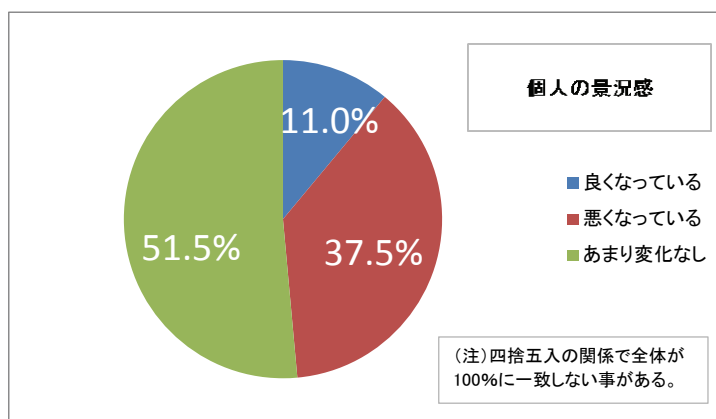


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7:あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

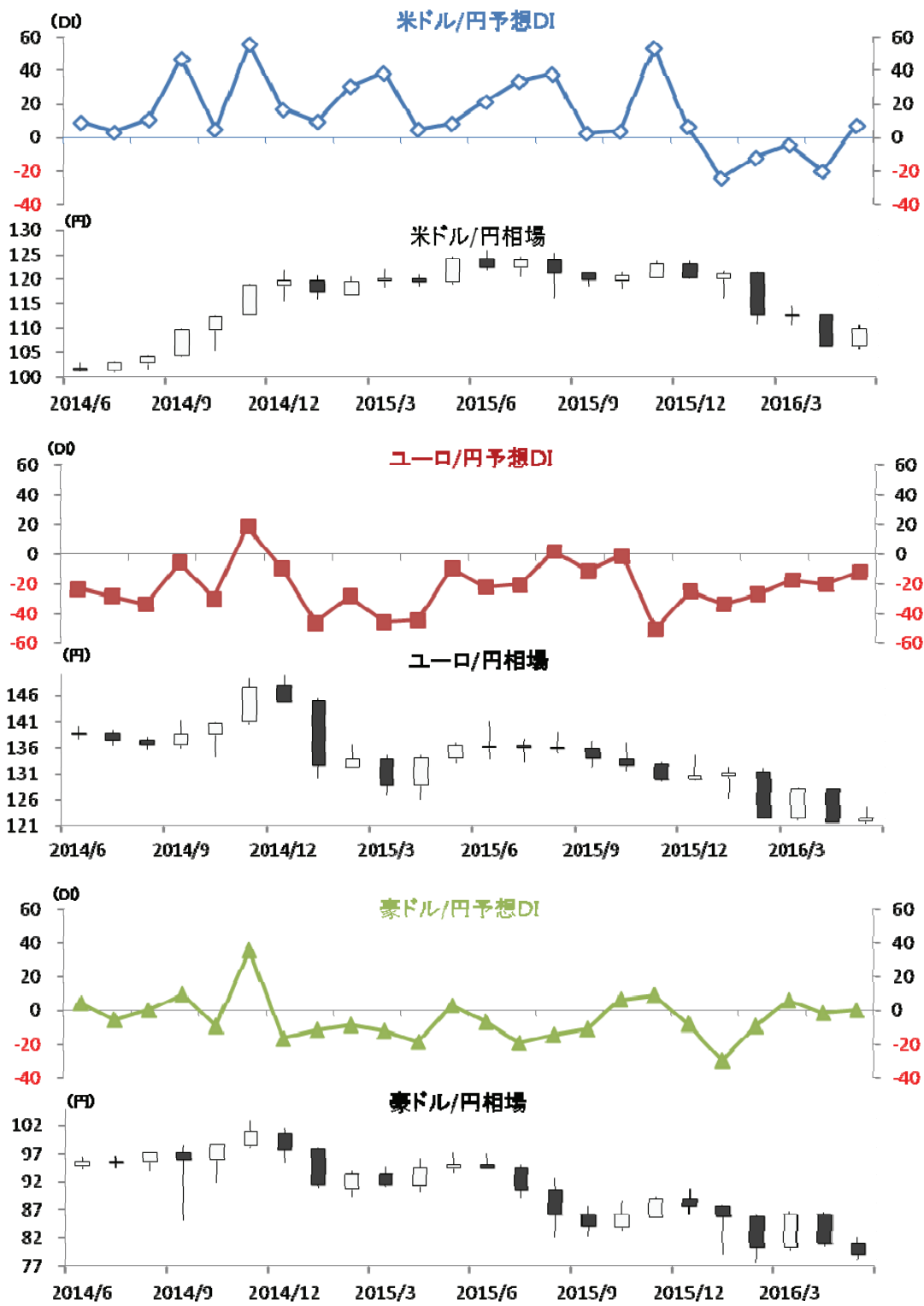
今回のもうひとつの特別質問項目として、「あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「あまり変化なし」が51.5%と過半数に達した。続いて「悪くなっている」が37.5%、「良くなっている」は11.0%に留まった。もっとも、この回答割合は第80回調査(2016年1月調査)とほぼ同じであり、FX投資家の景況感にほとんど変化がない事がわかる。なお、この質問は、ほぼ3か月に一度の割合で尋ねているが、このところ3回続けて「悪くなっている」が「良くなっている」を上回っている。FX投資家の景況感は底這い圏にあり、上向く兆しが見えにくい状態にあると言えそうだ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表: 主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された 意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第84回目となりました。調査開始から7年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2014年	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5
	10月	39.4	34.4	5.0	18.3	47.8	-29.5	27.1	36.1	-9.0
	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5	-11.3
	2月	46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
	3月	52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1
	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0
	7月	49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9
	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com